

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 中央区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	「誰もが住みやすく地域で楽しく暮らせるまちづくり」に向けた調査・検討 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	「地域コミュニティを活性化する手段としての防災活動」をテーマに、2ヶ年事業として「自助」、「共助」、「公助」を調査・研究を行うこととする。 平成27年度の取り組みは、51年が経過した新潟地震を風化させることなく大規模地震からいかにして「自分自身の命」を守り、かつ「家族の命」を守るかに主眼を置き、一人一人に「自助」の意識を高め、家族で話し合う機会にしてみようため、「わが家のチェックシート」を作成し、広く区民に発信する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数 など)	＜わが家のチェックシートの作成および配付＞ ○区役所関係課から市・区の防災に関する勉強会を開催し、部会事業の検討を行った。 ○協議・検討を重ねた結果、他県の先行事例(大分県佐伯市狩生自主防災会)を参考に、中央区版「わが家のチェックシート」を作成することにした。 ○作業を進めるにあたり、「チェックシートを作成する班」と「区民への周知・啓発する班」の2班に分かれ、効率よく検討を進め、チェックシートを無事に完成させ、中央区内各世帯への配布を行った。
事業の評価  (地域課題の抽出方法 や企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など)	○部会で協議・検討を重ねるごとに、「自助」ができなければ、「共助」へ結びつかないとの結論に至った。自らが考え、行動できなければ、他人を助けることできない。 ○大規模災害時は、どのような状況下でも、自らが瞬時にとるべき行動を判断し、臨機応変に対応しなければならない。この「わが家のチェックシート」をもとに家族や地域で話し合うことにより、基礎的な知識の習得、および防災意識の高揚に寄与できるものとする。 ○当部会は委員が17名と多いため、2班に分かれ効率的な部会事業が実施できたものとする。 ○平成28年度から中央区だよりに「わが家のチェックシート」のさらなる周知を図るため、防災ワンポイントを計24回掲載するにあたり、内容を検討し、完成させた。  (その他) ・提案事業以外の部会活動として、新潟大学人文学部の学生と自治・町内会について、意見交換会を2回開催した。自治・町内会について、若者ならではの柔軟な発想による考えを知る機会となり、今後の部会活動を進めるうえで、大変有意義であった。 ・老人憩いの家利用者拡大のための改善策についても、区関係課と前向きな協議を行う中で一定の改善がなされた。
備考	